

心に残る文化財子供塾 島根県立出雲養護学校大田分教室

1. 活動の概要

6月29日（水）、島根県立出雲養護学校大田分教室で『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。体験活動の「土笛作り」「古代衣装を着る」とおして、古代の人の生活にふれることを目的としました。

土笛作りでは、土笛の演奏を聴きながら出土品を間近に見て、いろいろな形や色があることに気づいたり、見本を吹いて音を出したりしながら、自分が作る土笛への気持ちを高めました。内側をくり抜く作業ではスプーンを使って一生懸命削り、貼り合わせた後に表面をきれいに整えるなど集中して作業していました。完成後は、作った土笛を前に古代衣装を着て記念撮影をしました。

2. 活動の様子



粘土を成形して半分に分ける作業。みんなとてもきれいにできました。

古代人の作った土笛は、いろんな大きさや色があります。最後に好きな色の古代衣装で記念撮影。

3. 子ども塾を終えて

(1) 生徒の皆さんから…

- ・粘土で土笛をつくるのがたのしかった。
- ・弥生時代の服を着れてうれしかった。
- ・土笛の中をスプーンでくりぬく時に形がくずれないように力加減に気をつけて集中してできた。
- ・土笛がどんな音なのか、音の鳴らし方も知りたい。

(2) 担任の先生から…

- ・古代の文化や生活について話を聞くだけでなく楽器作りや衣装を着る体験ができ、生徒たちが楽しみながら歴史にふれることができた。
- ・どうやったら音が鳴るよう作れるか、笛の実演やわかりやすい手順表があるとよかった。

(3) 世界遺産室から

生徒のみなさんは土笛に対して興味津々の様子で、出土品を触ったり土笛の演奏を聴く間、どうやって鳴らすのか、どんな音が出るのか、などたくさん質問をしてくれました。実際の作業では、コロナ対策のため一人ずつ順番に手伝うことで時間がかかってしまい、手順を示したイラストパネルを準備すればもっとわかりやすかったと思いました。